

市長さん！ どうするのですか？ 「国保税の負担軽減」の公約は

所得 200 万円、夫婦と子ども 2 人の国保税は
なんと 47 万円 (所得の 23.5%)

平野市議は「4人世帯、所得 200 万円の国保税は？」と質問しました。なんと「47 万円」という答弁。所得の 4 分の 1 近くが国保税の支払いで消える、これは異常です。

浜田市長は、最後まで
「引き下げる」とは答弁せず

平野市議は 1 時間の質問時間のうち 40 分を使って公約の実現を求めました。ところが浜田市長は最後まで「引き下げる」という答弁はしませんでした。

浜田市長は、平成 20 年度から国民健康保険税を大幅に引き上げました。その結果、高すぎる国保税になりました。引き下げを求める市民の声にこたえて、浜田市長は昨年の市長選挙で「国保税の負担を軽減します」と公約し当選しました。ところがいまだに公約を実行しておりません。平野市議は「来年度には引き下げの実現を」と強く迫りました。ところが、浜田市長は・・・

来年度は国保税の引き下げを！ この市民の声を浜田市長に届けましょう。

市民は、大幅値上げと所得減少のダブルパンチ

平均 32.3%もの大幅値上げをした平成 20 年度は約 32 億円の国保税収入を見込んでいましたが、23 年度決算では 25 億円台に落ちています。この原因は「所得の減少」。市民にはダブルパンチです。

国保税収入の推移	
《予算》	《決算》
(H20) 32 億円	⇒ 28 億 6 千万円
(H21) 28 億 4 千万円	⇒ 26 億 5 千万円
(H22) 26 億 7 千万円	⇒ 25 億 6 千万円
(H23) 25 億 3 千万円	⇒ 25 億 6 千万円

高すぎて、5 世帯に 1 世帯が滞納
平成 23 年度の滞納世帯は 4,420 世帯 (全体の 19.9%)
7 世帯に 1 世帯が、正規の保険証がもらえない
資格証明書 59 世帯、短期保険証 3,160 世帯
(あわせて、全体の 14.5%)

国保税の納入率 (現年度分) は、県下最低
平野市議が「納入率は？、県下での順位は？」と質問。
なんと「86.5%で県下 18 位、県下最低です」と答弁。